

第 68 期

# ZAOH LETTER

2023.4.1 ▶ 2024.3.31

環境を美しく健やかに  
私たちは環境美化創造企業です



**蔵王産業株式会社**

証券コード: 9986



2期連続、売上高90億円を達成  
価格競争力のある商品開発を  
加速します。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社の2023年4月1日から2024年3月31日における事業の概況をご報告させていただきます。

代表取締役社長 沓澤 孝則

私たち蔵王産業は、  
クリーンな労働環境や生活環境づくりに積極的に取り組み、  
高品質な環境クリーニング機器を提案、提供する企業です。

## 当期2024年3月期の業績について

2024年3月期における当社の業績につきましては、売上高9,425百万円、営業利益1,210百万円、経常利益1,234百万円、当期純利益1,017百万円となり、売上高は過去最高であった前期に続き90億円台を達成しました。

業務用商品におきましては、コロナ禍で納期が遅れていた搭乗式大型清掃機の販売が復調し、販売台数を伸ばしました。しかし競合商品との兼ね合いから価格改定を十分にできておらず、利益に対する貢献は限定的なものとなりました。10月に発売を開始したロボットクリーナーは期間が短いいため販売台数がまだ少ないものの、今後の需要拡大に期待しております。また強アルカリイオン電解水生成機「ZKプレミアム」は機器の需要が落ち着いてきた中でも一定の買い替えがあり、電解補助剤であるZK-POCAの需要があることから、売上高は例年と同等の実績に落ち着

きました。一方コンシューマー向け商品におきましては、前期まで業績を力強く牽引していたOEM供給による家庭用リンサー及び小型スチーム機器の需要が一巡し、販売台数の落ち込みが懸念されておりましたが、売上高は微減にとどまりました。

前期実績との比較では、売上面は家庭用リンサーの販売低調の影響が大きく、減収となりました。利益面は、売上高の減少に加えて記録的な円安、海外メーカーの値上げ要請が相次いで原価が上昇したこと等により減益となりました。

## 当期の重点的施策について

ひとつは付加価値の高い新商品の開発です。2023年4月に商品の企画・開発だけでなく、販売手法や提案方法なども含めてトータルに取り組む専門部署を立ち上げました。これが功を奏し、業務用

● 売上高

9,425 百万円

前期比

2.3%減

● 経常利益

1,234 百万円

前期比

12.2%減

● 自己資本比率

86.5%

前期比

0.6ポイント減

● 1株当たり純資産

2,357.72 円

前期比

61.07円増

● 配当金

100 円

前期比

9円減

● 配当性向

53.8%

前期比

5.4ポイント減

機器に関してこれまでは主にアメリカ及び欧州から仕入れていましたが、10月から中国メーカーから価格競争力がある新商品を入れることができました。コモディティー化されて誰もが知っている商品は値段勝負になりがちです。さらに当期は、為替が想定を超える急激な円安となりました。その中で価格競争に強い商品の仕入先を開拓できたことは、今後につながる大きな一歩が踏み出せたと自負しております。

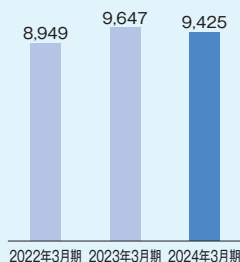
もうひとつは全国各地の拠点訪問です。前期まではコロナ禍のため、従業員と直接会う機会をあまり持てませんでした。今期は夏前から毎月1回以上足を運ぶように決めて、何か困っていることがないか、希望することは何かなど、全員にざっくばらんに聞き取りました。当社も他社同様に人材不足の問題に直面しており、不満を抱えたまま貴重な人材が退職してしまうのは食い止めたいのが本音です。そのためトップ自らが意見を吸い上げて、その中から改善できるもの、改良できるもの等、自分たちが気づいていないことを整理して、現場の声を今後の経営に少しずつ反映したいと考えております。

## 2023年10月発売開始の ロボットクリーナーについて

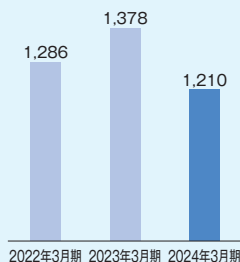
「ロボットスクラバーR3-Scrub Pro」と「ロボットバキュームR3-Vac」は複雑なトレーニングがいない自律型床清掃ロボットです。マジックタグを目印に数分で配置場所を理解して、速やかに清掃を開始します。ロボットクリーナーが自動でクリーニングしている間、清掃スタッフはトイレや小さな空間などのロボットが苦手とする場所を清掃することで、人と時間を効率化できるメリットがあります。納品先からは同機の清掃能力に対して高く評価していただいております。順調に稼働しています。ただロボットは修理が複雑で、ソフトウェアの要素が多いため、どのようなクレームがどのような原因で起きるのか、予想することが困難です。そのため今回の2機種については、ひとまず東京を中心に関東エリアに限定して販売を開始しました。十分に情報が集まった段階で、できるだけ早い時期に全国展開に移行してまいります。

### ● 財務ハイライト (単位:百万円)

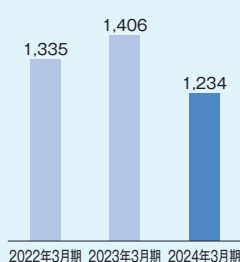
#### ● 売上高



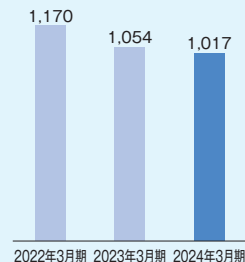
#### ● 営業利益



#### ● 経常利益



#### ● 当期純利益



本商品につきましては、大手ビルメンテナンス会社、ビル管理会社、ビル所有者からの関心が高く、多くの引き合いをいただいています。ロボットクリーナーを使った清掃方法の認知がまだ低く、どこが機器の購入費用を負担するのか、ロボットクリーナーの使用を誰が許可するのかなど、線引きが曖昧な部分があります。これらがクリアになっていくにつれて、採用されるケースが増えていくものと考えております。

## 人材不足への懸念と 当社の状況について

新卒に関しましては人数は足りないものの着実に採用できています。営業に配属した従業員は順調に力を付けており、平均年齢も今後若返りが図れる見通しです。一方、中途採用は地域によって全く採用できないところがあります。特に悩ましいのが修理部門です。各営業所にサービス員と呼んでいる技術スタッフが在籍していますが、年齢が上がってきています。後任の人材を育てるためには最低でも1~2年かかることから補充が急がれますが、採用することが難しくなっています。こうした現状を踏まえて発想を転換し、営業であっても簡易な修理ができるようにするため、技術研修を定期的を実施し、修理方法を紹介する動画を制作して教育するなどして対応する方針です。

## SDGs関連の新たな 取り組みについて

当社は企業としての社会的責任を意識し、環境やSDGsの取り組みに力を入れています。当期の新たな取り組みとしては、2024年5月に開催された展示会に中古の大型搭乗式清掃機のエンジンを外してEV化して再生したものを参考出品いたしました。この商品は躯体を再利用することでエネルギーや原材料の消費を抑えられ、CO<sub>2</sub>排出量の削減につながります。さらにEV化によってクリーニング中も排気ガスで現場の空気を汚すことはありません。当社はこのような環境負荷の低減に貢献する清掃機器をはじめとする商品を開発し、SDGsの推進を目指すお客様のご期待に応えたいと考えております。

## 来期の見通しと 営業方針について

設備投資が回復してきており、東京をはじめ大型ビルの開業が相次いでいる一方で、清掃作業の請負単価は伸び悩んでいます。清掃機器の購入を見送るお客様が増え、修理需要が伸びています。こうした流れは2025年3月期も続くと思われる。このため高額の新商品については、引き続き使用する場所に適した機器をしっかりと開発していきます。価格勝負の商品については、価格競争力のある海外メーカーとの取引にも注力していきます。

既存商品につきましては、見積の金額提示で商談が終わらないようにどのようなアプローチで実演へ持っていき、他社に勝つか、そのプロセスを営業が考える必要があります。最も重視すべきは実演です。その機会に現場ごとの汚れのお困り事を聞き出すことができれば、お客様に喜んでいただけるプラスアルファの提案ができると考えております。

### 株主の皆様へ メッセージ

配当につきましては、株主の皆様に長期的な視点で当社の株式を保有していただくため、第70期である2026年3月期までは引き続き業績に関係なく1株当たり年間100円以上の安定配当を実施してまいります。

当社は70周年を株主の皆様や従業員、取引先等のステークホルダーと一緒に笑顔で迎えるため、第68期(2024年3月期)に種をまき、第69期(2025年3月期)に育てて実らせ、第70期(2026年3月期)にしっかり収穫するというロードマップを描いております。当期は下期に価格競争力のある中国メーカーの床清掃機を入れることができ、やや予定より遅れましたがひとつの種まきを果たしました。来期は商品開発、市場の開拓、清掃の手法などについて、もう一段ギアを上げて取り組んでまいります。為替や人材不足をはじめとする直面する様々な課題を克服し、100年、200年と続く企業になるため、成長を続けてまいります。



株主の皆様におかれましては、これからも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 清掃機器部門

売上高

1,813 百万円

主要商品

動力清掃機、真空掃除機、カーペット清掃機、泥層・氷層除去機

当期は、コロナ禍で納期が遅れていた搭乗式大型清掃機の販売が復調してきたこと等から、増収となりました。

### ●業務用 吸塵清掃ロボット 「R3-Vac」

両脇にカメラとセンサーを取り付けているため、従来の清掃ロボットではなしえなかった壁際ぎりぎりまできれいにすることができます。また、集塵方法にも工夫を凝らしており、シリンダーブラシとマイクロファイバーブラシの2種類をツインで取付け、掻き上げるようしながらゴミを集めることができ、最高の清掃を実現します。



### ●スティック型サイクロンバキュームクリーナー 「スピアーサイクロンSH」

高耐久かつ高効率で高出力のカーボンブラシレスモーターに加え、モーターを覆う遮音カバーとHEPA系ろ材を使用した高性能フィルターの採用でスピアーサイクロン史上最少運転音とクリーンな排気を実現し、様々な現場で好評を得ております。



## 洗浄機器部門

売上高

4,688 百万円

主要商品

自動床洗浄機、カーペット洗浄機、カーペット濯ぎ洗い機、高圧洗浄機、スチーム洗浄機、振動式洗浄機

当期は、コンシューマー向けの家庭用リンサーや小型スチーム機器の需要が一巡したこと等から、減収となりました。

### ●バッテリー駆動式自動床洗浄機 「スクラブメイトF50」

最高クラスの洗剤タンク容量を採用。同時に、ECOモードを搭載し、長時間稼働を実現しているため、洗浄面積の広い大型商業施設、食品加工や金属加工などの各種製造工場等、広大な面積の洗浄作業に最適な商品です。



### ●搭乗式自動床洗浄機 「スクラブメイトMMg730 Plus」

バックモニターや後進時の衝突防止センサー、自動ブレーキ等を採用。最小回転幅は1,950mmと小回り性抜群であるほか、低床設計により運転席を低くしたことから、安心して操作ができ、現場から大変好評を得ております。



## その他部門

売上高

2,922 百万円

主要商品

強アルカリイオン電解水生成機、部品及びメンテナンスサービス、清掃・洗浄機用消耗品及びアクセサリー、水質浄化剤、一般家電製品、その他

当期は、清掃・洗浄機器用アクセサリーの販売が低調だったこと等から、減収となりました。

### ●強アルカリイオン電解水生成機 「ZKプレミアム」

通常のアルカリ濃度のpH12.5に対しpH13.1の濃縮イオン電解水を生成することが可能となりました。濃度の違いは洗浄力となって表れ、ノンケミカルの洗浄へ欠かせない商品の一つとなっております。



### ●ブルー洗浄剤 「アクアビル」

陽イオン高分子凝集剤が水中の微粒子を凝集することで清掃フィルターにかけやすい状態にし、水の透明度を高めます。



### ① 流動資産

前事業年度末に比べて4.1%減少し、10,600百万円となりました。これは主として有価証券が299百万円、売掛金が115百万円増加したものの、現金及び預金が714百万円、商品が128百万円減少したこと等によるものであります。

### ② 固定資産

前事業年度末に比べて3.4%増加し、4,201百万円となりました。これは主として建物が58百万円減少したものの、建設仮勘定が110百万円、繰延税金資産が85百万円増加したこと等によるものであります。

### ③ 流動負債

前事業年度末に比べて4.0%増加し、975百万円となりました。これは主として未払金が81百万円減少したものの、その他の流動負債が110百万円、未払法人税等が66百万円増加したこと等によるものであります。

### ④ 固定負債

前事業年度末に比べて1.7%増加し、1,029百万円となりました。これは主として、リース債務が10百万円増加したこと等によるものであります。

### ⑤ 純資産合計

前事業年度末に比べて2.8%減少し、12,796百万円となりました。これは主として自己株式が725百万円増加したこと等によるものであります。

#### CHECK!

2024年3月期決算の詳細は  
当社HP(IR情報)に掲載しています。

<https://www.zaohnet.co.jp/ir/>

## ● 貸借対照表

(単位:百万円)

科目	第68期 (2024年3月31日現在)	第67期 (2023年3月31日現在)
<b>(資産の部)</b>		
① 流動資産	10,600	11,057
現金及び預金	2,049	2,764
受取手形	754	787
売掛金	1,726	1,611
有価証券	4,699	4,399
商品	1,311	1,439
前渡金	—	1
前払費用	26	18
デリバティブ債権	23	—
その他	10	34
貸倒引当金	△0	△0
② 固定資産	4,201	4,064
有形固定資産	3,440	3,372
建物	1,142	1,200
構築物	31	36
機械装置	5	6
車輛運搬具	19	7
工具器具備品	22	12
土地	2,109	2,109
無形固定資産	152	176
投資その他の資産	608	515
投資有価証券	255	253
出資金	23	23
繰延税金資産	278	192
その他	52	45
貸倒引当金	△1	△0
資産合計	14,801	15,121
<b>(負債の部)</b>		
③ 流動負債	975	938
買掛金	192	217
未払金	133	215
未払費用	141	170
未払法人税等	216	150
賞与引当金	118	116
商品保証引当金	13	16
その他	159	52
④ 固定負債	1,029	1,012
退職給付引当金	586	580
再評価に係る繰延税金負債	172	172
その他	270	259
負債合計	2,004	1,950
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	12,465	12,869
資本金	2,077	2,077
資本剰余金	2,406	2,402
利益剰余金	9,451	9,135
自己株式	△1,470	△745
評価・換算差額等	331	300
その他有価証券評価差額金	△15	△16
繰延ヘッジ損益	16	△13
土地再評価差額金	331	331
⑤ 純資産合計	12,796	13,170
負債・純資産合計	14,801	15,121

## ● 損益計算書

(単位：百万円)

科 目	第68期 (2023年4月1日~ 2024年3月31日)	第67期 (2022年4月1日~ 2023年3月31日)
売上高	9,425	9,647 <b>⑥</b>
売上原価	5,436	5,488
売上総利益	3,988	4,159
販売費及び一般管理費	2,778	2,780
営業利益	1,210	1,378
営業外収益	26	28
営業外費用	2	—
経常利益	1,234	1,406
税引前当期純利益	1,234	1,406
法人税、住民税及び事業税	316	252
法人税等調整額	△99	99
当期純利益	1,017	1,054

## ● キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	第68期 (2023年4月1日~ 2024年3月31日)	第67期 (2022年4月1日~ 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,186	178 <b>⑦</b>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△159	△92 <b>⑧</b>
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,442	△459 <b>⑨</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額	△415	△374
現金及び現金同等物の期首残高	7,163	7,538
現金及び現金同等物の期末残高	6,748	7,163

### ⑥ 売上高

主にコンシューマー向けの家庭用リンサーや小型スチーム機器の需要が一巡したこと等から、前期比2.3%の減収となりました。

### ⑦ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は1,186百万円（前期比1,008百万円増加）となりました。収入の主な要因は、税引前当期純利益が1,234百万円、その他の流動負債の増加額が135百万円、棚卸資産の減少額が128百万円であり、支出の主な要因は、法人税等の支払額が247百万円あったこと等によるものであります。

### ⑧ 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、159百万円（前期比66百万円増加）となりました。支出の主な要因は、有形固定資産の取得による支出が138百万円あったこと等によるものであります。

### ⑨ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、1,442百万円（前期比983百万円増加）となりました。支出の主な要因は、自己株式の取得による支出が739百万円、配当金の支払額が699百万円あったこと等によるものであります。

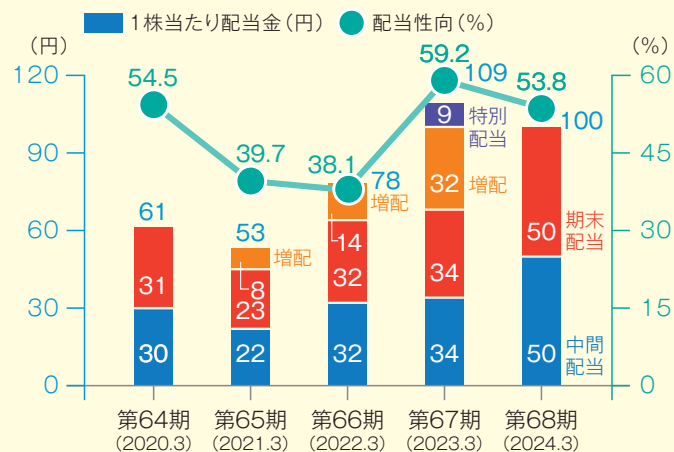
## 株主還元方針

当社は、株主の皆様への利益配分と会社の体質強化のための内部留保との調和を図りながら、配当につきましては配当性向重視の方向を維持してまいります。

また、株主の皆様への安定的な利益還元として2年後に迎える70周年までの配当につきましては、株主の皆様に長期的な観点で当社株式を保有していただくため、当社の事業展開や財務状況のほか会計基準の変更等特殊要因による業績変動等を総合的に勘案し、1株当たり100円00銭以上の安定的な配当を基本方針としております。

なお、当期の1株当たり期末配当金につきましては、期初発表通り50円とし、中間配当50円を加えて年間配当は100円といたしました。

### 1株当たり配当金と配当性向



## ● 会社の概況 (2024年6月27日現在)

**社名** 蔵王産業株式会社  
**本社** 東京都江東区毛利一丁目19番5号  
 TEL 03-5600-0311

**資本金** 20億7,776万円

**役員**  
 代表取締役社長 沓澤孝則  
 常務取締役 竹村 洋  
 常務取締役 御幡純平  
 取締役 村上正俊  
 取締役 会田 南  
 常勤監査役 大沼源吉  
 監査役 川添利賢  
 監査役 宮崎雅俊

**営業品目** 動力清掃機、カーペット清掃機、泥層・氷層除去機、真空掃除機、自動床洗浄機、カーペット洗浄機、カーペット濯ぎ洗い機、高圧洗浄機、スチーム洗浄機、振動式洗浄機、部品及びメンテナンスサービス、清掃・洗浄機用消耗品及びアクセサリ、その他

**営業所**  
 札幌営業所 仙台営業所 宇都宮営業所  
 水戸営業所 船橋営業所 川越営業所  
 東京営業所 横浜営業所 新潟営業所  
 静岡営業所 金沢営業所 名古屋営業所  
 京都営業所 大阪営業所 神戸営業所  
 岡山営業所 広島営業所 高松営業所  
 福岡営業所 鹿児島営業所 商事営業本部  
 物流センター及び試験研究室

## ● 株式の状況 (2024年3月31日現在)

発行可能株式総数 22,000,000株  
 発行済株式総数 5,427,626株 (自己株式838,374株を除く)  
 自己株式数 838,374株

## ● 株主の状況

総株主数 34,280名

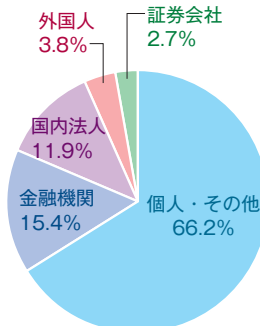
## ● 大株主の株式所有状況

(単位:株)		
	持株数	持株比率
(株) 三井住友銀行	255,600	4.71%
(株) 千葉銀行	230,000	4.24%
学校法人麻生塾	230,000	4.24%
蔵王産業社員持株会	177,080	3.26%
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	172,100	3.17%
東京美装興業(株)	158,400	2.92%
土方孝悦	154,900	2.85%
東京海上日動火災保険(株)	120,000	2.21%
照井雅夫	89,820	1.65%
J P モ ル ガ ン 証 券 (株)	61,029	1.12%
合 計	1,648,929	30.38%

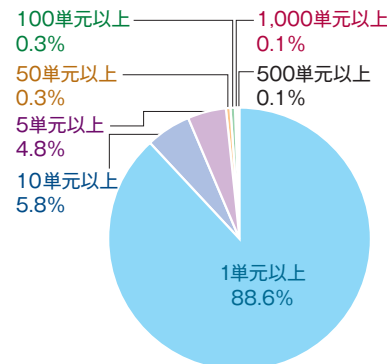
(注) 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## ● 株式分布状況

所有者別株式数構成比



所有株数別株主数構成比



(注) 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	TEL：0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

### ● 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

### ● 未払配当金について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

### ● 「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。

### ● 特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。